

原子力発電所の運転および建設状況

原子力安全対策課 平成13年7月3日現在

設備容量	運転中	14基	計1145万kW
	建設中	1基	計 28万kW

<http://www.atom.pref.fukui.jp/>

項 目 発電所名		現 状	稼働率（進捗率）%		概 要
			平成13年度	運開後累計	
日本原子力発電(株)	1号機	運 転 中	100 100	67.4 64.4	
	2号機	運 転 中	57.9 56.1	81.4 80.9	第11回定期検査(H13.3.10～6.5) H13.3.10 1* 発電停止。5.6 9* 原子炉起動、18*06' 臨界。 5.9 20* 調整運転開始。6.5 15*30' 営業運転再開。
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所		計画停止中	58.2 58.1	65.4 63.9	フェリス内のヘリウム循環系配管からトリウムがわずかに漏えいしていることが判明。H13.5.24 5*08' に原子炉を停止。点検の結果ヘリウム循環系戻り配管の4箇所において漏えいを確認。現在、当該配管を切断し詳細調査を実施中。 平成13年度計画停止 (H13.6.13～未定)
核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 中間熱交換器(C) 2次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。
関西電力(株)	1号機	定期検査中	36.3 36.1	50.7 47.8	第18回定期検査(H13.5.4～8月下旬予定) H13.5.4 1* 発電停止。
	2号機	運 転 中	72.8 68.9	59.9 58.1	H13.6.11 B-主蒸気管の閉止栓管台の溶接部近傍から蒸気漏れを確認。6.14 24* クランプおよび充填材注入により補修完了。 (添付資料参照)
	3号機	運 転 中	100 100	74.9 73.4	
大飯発電所	1号機	運 転 中	100 100	63.1 61.9	
	2号機	定期検査中	67.0 66.8	70.9 69.7	第16回定期検査(H13.6.1～9月下旬予定) H13.6.1 0* 発電停止。
	3号機	運 転 中	100 100	89.1 88.6	
	4号機	運 転 中	100 100	84.1 83.6	
高浜発電所	1号機	運 転 中	100 97.6	65.7 64.1	
	2号機	運 転 中	100 100	66.5 64.6	
	3号機	定期検査中	77.0 76.8	84.8 84.3	第13回定期検査(H13.6.10～8月下旬予定) H13.6.10 1* 発電停止。
	4号機	運 転 中	100 100	84.7 84.2	
		合 計	83.5 86.3	68.9 70.2	(注) 稼働率（進捗率）は、平成13年6月末現在。 累計は、営業運転開始以降。

上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

<本件に関する問い合わせ先>
原子力安全対策課
(県庁内線) 2353, 2354

平成13年度安全協定に基づく軽微な異常事象報告

美浜発電所2号機 B-主蒸気管からのわずかな蒸気漏れについて

- ・発生日時：平成13年6月11日19時（漏れ発見）
- ・終結日時：平成13年6月14日24時（漏れ停止確認）
- ・放射能による周辺環境への影響：なし
- ・国の取扱い：報告対象外

- ・事象概要：

美浜2号機は、定格出力運転中の6月11日19時頃、巡視点検中の運転員が、2次系のB-主蒸気管で、高圧タービンへの入口側近くにおいて保温材外表面から水滴がわずかに滴下しているのを発見した。

このため、当該主蒸気管について、保温材の一部を撤去し点検した結果、B-主蒸気管にある閉止栓管台溶接部の近傍から蒸気が漏れていることが確認された。このため、漏えい蒸気については専用治具にて飛散しないよう措置した。

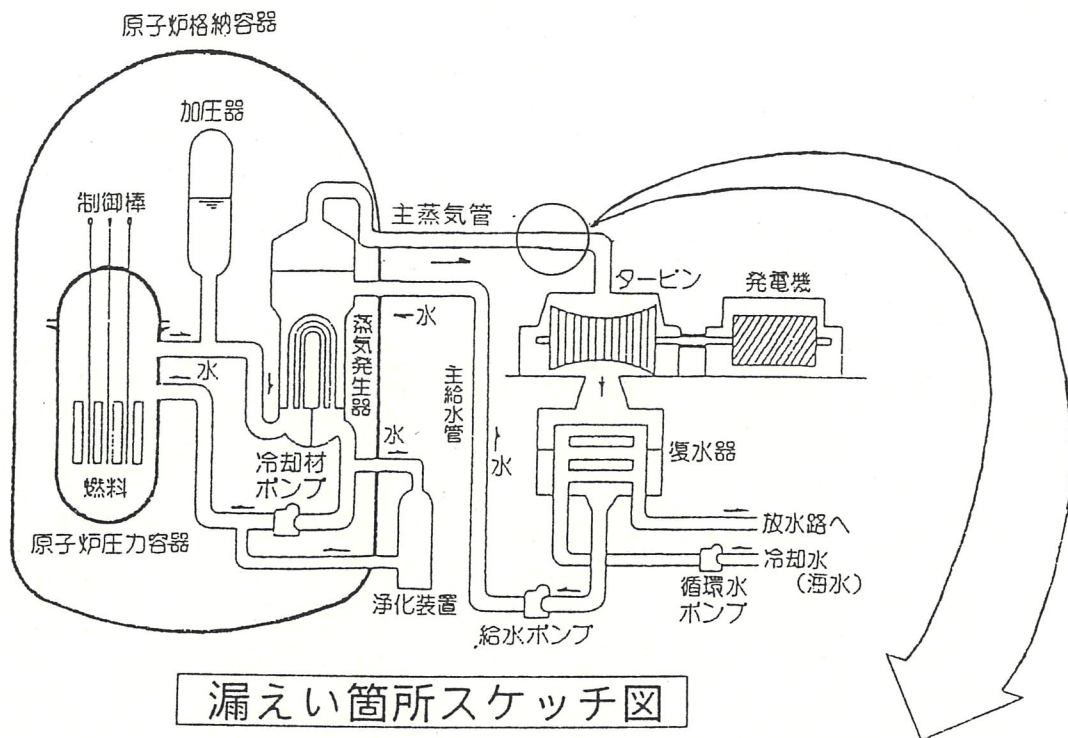
漏えい箇所は、旧主蒸気水質管理用サンプリングノズル（サンプリングノズルは平成9年に取り外し、閉止栓に変更）を取り付けるための管台溶接部で、漏れ量は数cc/分と微小であり、管台近傍の主蒸気管肉厚測定で周囲に減肉等が認められないことから、次回定期検査までの間、充填材による補修工法を適用することが可能であると判断した。

6月14日、漏えい部を含む閉止管台全体を鋼製の閉止筒で覆い、これをクランプ（外枠）にて主蒸気管に固定した後、閉止筒内に充填材を注入・固化させ、漏れがないことを確認した。

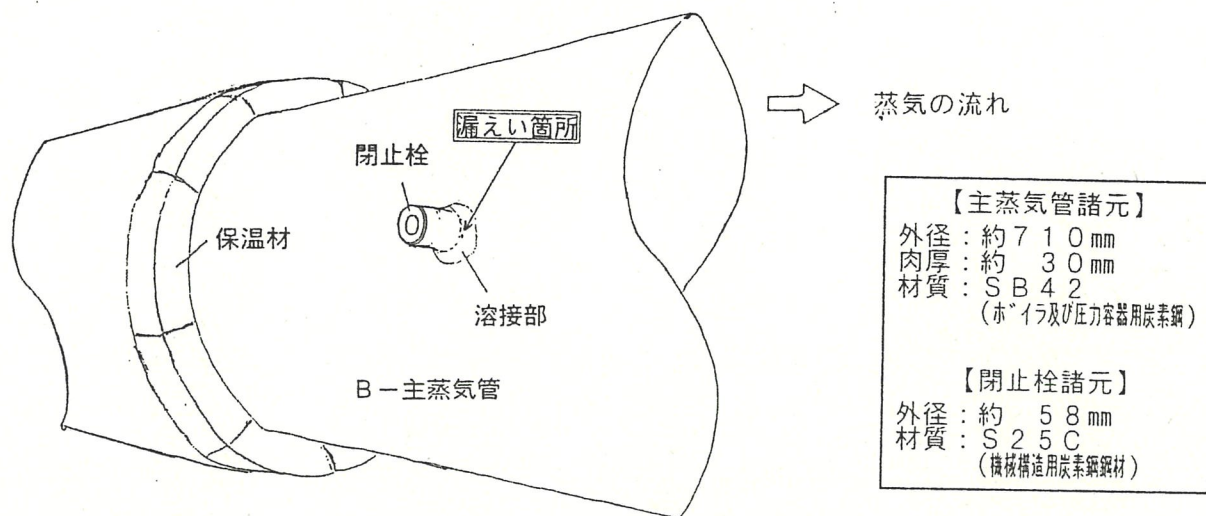
当該部の詳細調査については、次回定期検査（平成14年春頃）で実施する予定である。

なお、今回の補修が完了するまでの間、蒸気発生器の水位や主蒸気流量、電気出力等の運転パラメータに変化は認められていない。

概略系統図



漏えい箇所スケッチ図



充填材による補修状況図

